

さくら



令和6年11月25日(月)

アン ミカ さんに学ぶ



テレビCMに起用されているタレントさんには、好感度の高い人が多くいます。「ほけんの窓口」のCMに起用されている アン ミカさんもその一人です。PHP12月号に彼女の寄稿がありました。共感したので、その概要を伝えます。

一つ目は、生活の中で不必要なものを手放すということ。定期的に不必要なものを整理・整頓することで心がすっきりし、心に余裕が生まれるとありました。家の中を見渡せば、ついつい買ってしまった物もありますよね。そのような物を手放すことで得られる、豊かで快適な生活もあるはずです。

二つ目は、心のあり方で手放してよかったものについて書かれていました。彼女の生い立ちの中で、父親が経営するラーメン店の火事、店の再建後の立ち退き、15歳時の母との死別など、不運なことが重なったそうです。当時、彼女は次のように思ったそうです。

「どうして私ばかりこんな目に遭わなくちゃいけないの」、と被害者意識の塊(かたまり)だったそうです。

ある時、彼女は教会の神父さんにそのことを相談しました。すると神父さんは次のように言われたとのこと。「起こるできごとすべてを信頼しなさい」 この言葉は、前号で書いた「時にかなって美しい」ということでしょうか。また、神父さんは次のように続けました。

「過去の成功の法則で乗り越られない出来事が起きた時は、これまでと違う知恵と工夫で乗り越える。その先には絶対に幸せがあるし、その経験で得た新しい知恵と工夫は、きっと困っている人に寄り添う力にもなる」

彼女はこの言葉から、自分で現状を変える工夫をせず、他人のせいにしてばかりいた自分に気づいたそうです。その気づきで、被害者意識を手放すことができたのです。

以上のような アン ミカ さんの「学び」と「気づき」が、今の彼女の活躍につながっているのだと思います。そこには学ぶところがたくさんあるのではないのでしょうか。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

